# ターゲット管理ユーティリティ
# 取扱説明書

株式会社エー・アンド・デイ

Rev.01.00.01

## 改訂履歴

第 1 版：新規登録（2005/10/04）
第 2 版：プロジェクト選択画面起動を本ユーティリティの操作手順に追記しました。

目次

**1. 注意 ..... 4**

**2. 概要 ..... 5**

**3. アプリケーションのインストール／アンインストール ..... 6**

**3.1. インストール手順 ..... 6**

3.1.1. インストールの確認 ..... 7
3.1.2. 設定変更、アンインストール手順 ..... 8

**4. 操作方法 ..... 9**

**4.1. 基本操作手順 ..... 9**

**4.2. 起動 ..... 10**

**4.3. メインウィンドウ説明 ..... 11**

4.3.1. メニュー ..... 11
4.3.2. ターゲット管理 ..... 17

**4.4. ターゲット選択ウィンドウ説明 ..... 19**

**4.5. 詳細管理ウィンドウ説明 ..... 21**

4.5.1. VCRADX 管理タブ ..... 21
4.5.2. プロジェクト管理タブ ..... 23

**4.6. 電源 OFF 手順 ..... 25**

4.6.1. AD4820、AD5431/32 の電源 OFF 手順 ..... 25
4.6.2. AD5433/35 の電源 OFF 手順 ..... 26
4.6.3. AD5451 の電源 OFF 手順 ..... 26

# ⚠ 1. 注意

(1) 本書の一部または全てを無断転載することを固くお断りいたします。
(2) 本書の内容は予告なく変更することがあります。
(3) 本書の内容にてご不明な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、TEL : 048(593)7403(A&D 開発推進部)までご連絡下さい。
(4) 弊社では、本機の運用とする損失、損失利益等の請求につきましては（3）項に関わらずいかなる責任も負いかねますのでご了承下さい。

# 2. 概要

ADX システムにおいて、ターゲット（ADX 本体）に転送された Virtual Console プロジェクトの削除を行うためのユーティリティです。

＜＜注意事項＞＞
ターゲット管理実行の際には以下の注意事項を厳守して下さるようお願いします。

- Windows 上の VirtualConsole からターゲットにアクセスしている場合は、VirtualConsole を終了して下さい。
- ターゲットによる外部機器の制御等を行っている場合は、必ず作業を中断し、ターゲットと外部機器を切断して下さい。
- その他、ターゲットにアクセスしている機器を切断して下さい。
- ターゲット管理実行中は、ターゲットへのアクセスを行わないで下さい。
- ターゲット管理実行中は、ターゲットの電源を切らないで下さい。
- 実行中のモデルを停止して下さい。

# 3. アプリケーションのインストール／アンインストール

アプリケーションのインストール／アンインストールは以下の手順にて行って下さい。

## 3.1. インストール手順

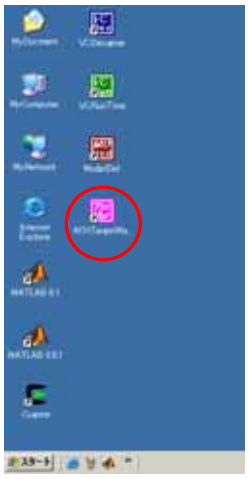
添付の CD よりインストールします。
インストールはすべての Windows プログラムを終了してから行って下さい。
ターゲット管理ユーティリティを再インストールする場合は、現在インストールされているターゲット管理ユーティリティをアンインストールしてから下記のインストール手順を実行して下さい。

インストーラ CD の” ¥ADXTargetManageUtility¥Setup.exe”を実行して下さい。インストール作業が開始されます。

① 次へをクリックして下さい。

② インストールが開始されますので、終了するまでお待ち下さい。

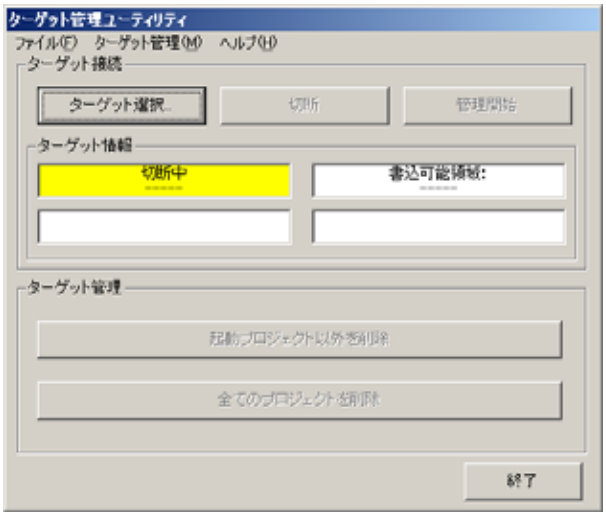
③ デスクトップにターゲット管理ユーティリティのショートカットを作成する場合は、「デスクトップにショートカットを作成する。」にチェックを入れて下さい。ショートカットは右下の図のように追加されます。
完了ボタンをクリックするとインストール作業は完了です。



### 3.1.1. インストールの確認

Windowsのスタートメニューから[設定(S)－コントロールパネル(C)－アプリケーションの追加と削除]を開いて「ADXTargetManageUtility Ver.x.x.x」が追加されていることをご確認下さい。

また、スタートメニューより[プログラム(P) - A&D DSPSystem - ADXTargetManageUtility]をクリックし以下のようにユーティリティが起動されれば、ターゲット管理ユーティリティは正常にインストールされています。



## 3.1.2. 設定変更、アンインストール手順

Windowsのスタートメニューから[設定(S)ーコントロールパネル(C)ーアプリケーションの追加と削除]を開いて下さい。
「AD5430System Ver.XX.XX.XX」を選択し、変更／削除をクリックして下さい。

ファイル削除の確認ウィンドウが表示されます。

OKをクリックするとアンインストールを開始します。しばらくお待ち下さい。

以下のような表示に切り替われば、アンインストールは正常にされています。完了をクリックしてウィンドウを閉じて下さい。

# 4. 操作方法

## 4.1. 基本操作手順

ターゲット管理ユーティリティの基本的な操作手順を示します。

1) プロジェクト選択画面を起動して下さい。(VirtualConsole2.6.x 以下は未対応)
(起動手順については各プラットフォーム『スタートアップマニュアル』を参照して下さい。)

2) PC とターゲットが LAN(クロスケーブルもしくは Hub + ストレートケーブル)で接続されている事を確認して下さい。

3) ターゲット管理ユーティリティを起動します (メインウィンドウが開きます)。

4) メインウィンドウ上の[ターゲット選択...]ボタンをクリックします (ターゲット選択ウィンドウが開きます)。

5) ターゲット選択ウィンドウ上でプロファイル名(任意の識別名)、ターゲット IP アドレスを入力します。
*「追加」ボタンでプロファイルに追加しておくと、次回よりリスト上から選択できるようになります。

6) ターゲット選択ウィンドウ上で[接続]ボタンをクリックし、ターゲットと接続します 。
(接続が成功すれば、ターゲット選択ウィンドウが自動的に閉じられます)。

7) ターゲット管理開始の警告メッセージが表示されます。
注意事項を読んだ上で、問題が無ければターゲット管理を開始して下さい。

8) メインウィンドウ上の[ターゲット管理]よりいずれかのボタンをクリックし、処理を実行します。

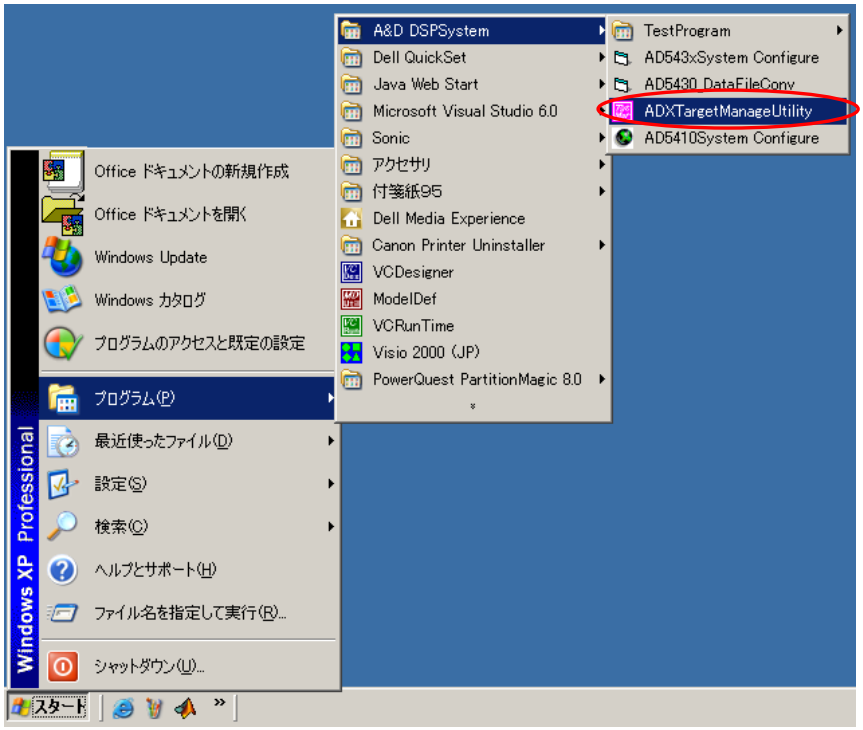
9) 処理終了後、メインウィンドウ上の[切断]ボタンをクリックし、ターゲットとの接続を切断します。

10) ファイルメニューの「終了」もしくは「終了」ボタンにて、ターゲット管理ユーティリティを終了します。

11) ADX システムを手動で再起動します。

## 4.2. 起動

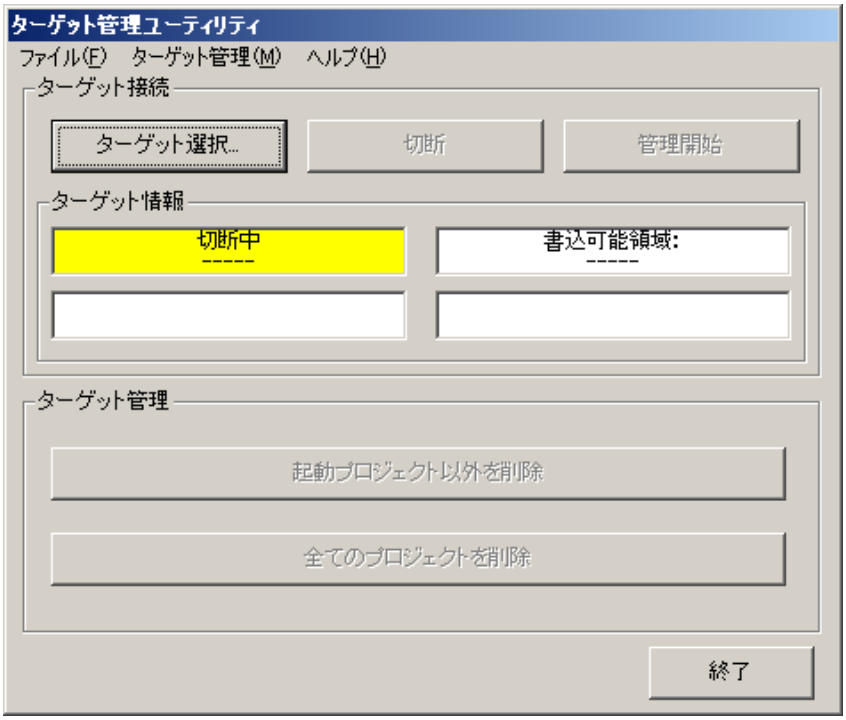
スタートメニューより[プログラム(P) - A&D DSPSystem - ADXTargetManageUtility]をクリックして下さい。




また、インストール時に「デスクトップにショートカットを作成する。」を選択している場合、以下のアイコンをダブルクリックで起動することも可能です。

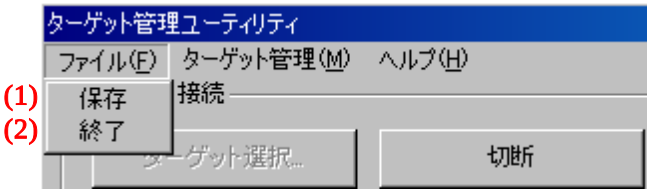
## 4.3. メインウィンドウ説明

ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが開きます。




### 4.3.1. メニュー

#### 4.3.1.1. ファイル(F)メニュー



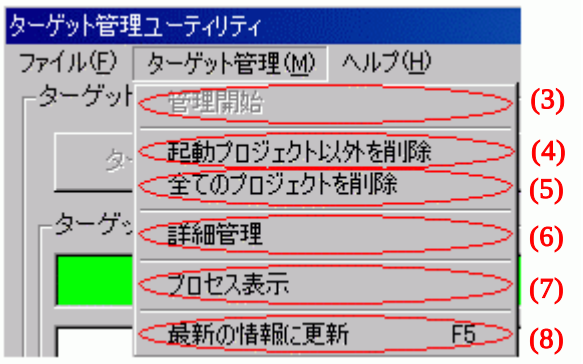

(1) 保存

ターゲット選択ウィンドウにて登録したプロファイル名と IP アドレスの設定を保存します。

(2) 終了

アプリケーションを終了します。
終了時に未保存のプロファイル情報があるときには保存の確認ダイアログが表示されます。
ターゲットが接続されたままの場合は自動的に切断します。
ターゲット管理実行後、ターゲットの主電源を切るよう指示するダイアログが表示されます。

#### 4.3.1.2. ターゲット管理(M)メニュー




**(3) 管理開始**
ターゲットと接続しているかつ、ターゲット管理を開始していない時のみ選択が可能となります。
接続中のターゲットに対してターゲット管理を開始します。

**(4) 起動プロジェクト以外を削除**
ターゲットとの接続時かつターゲット管理中で、起動プロジェクト以外に 1 つ以上のプロジェクトが存在する場合のみクリックが可能となります。
起動プロジェクト以外の全てのプロジェクトを自動的に削除します。
（起動プロジェクトとは、ADX 起動時にロード・実行されるプロジェクトのことです）
詳細は『(18) 起動プロジェクト以外を削除』ボタンを参照して下さい。

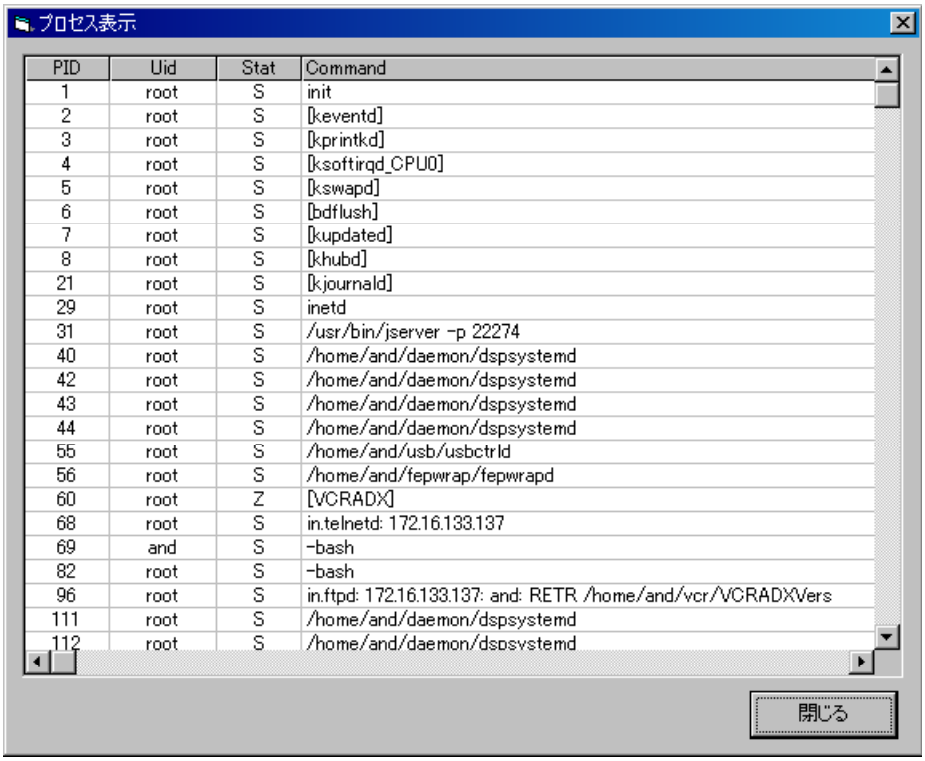
**(5) 全てのプロジェクトを削除**
ターゲットとの接続時かつターゲット管理中で、1 つ以上のプロジェクトが存在する場合のみクリックが可能となります。
起動プロジェクトを含む全てのプロジェクトを自動的に削除します。
注意：起動プロジェクトを削除しない場合は使用しないで下さい。
詳細は『(19) 全てのプロジェクトを削除ボタン』を参照して下さい。

**(6) 詳細管理**
ターゲットとの接続時かつターゲット管理中のみクリックが可能となります。
詳細管理ウィンドウを開き、プロジェクト単位/ファイル単位での操作を行うことができます。

*通常のターゲット管理で使用する必要はありません。

**(7) プロセス表示**

ターゲットとの接続時のみクリックが可能となります。
ターゲット上で実行中のプロセスを別ウィンドウに表示します。
プロセス表示ウィンドウ上がアクティブな状態でキーボードの F5 キーを押下するか、またはメインウィンドウメニューの[ターゲット管理－最新の情報に更新]でプロセス情報を更新することができます。
*プロセス表示ウィンドウ上で F5 キー押下をすると、プロセス情報のみが更新されます（ファイル/フォルダ階層情報は更新されません)。

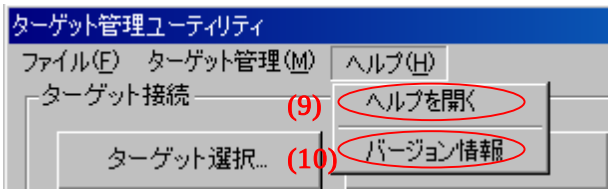



**(8) 最新の情報に更新（F5 キー）**

ターゲットとの接続時のみクリックが可能となります。キーボードの F5 キー押下でも同様の処理が行われます。
実行すると再度ターゲット情報を取得しなおすことができます。
ターゲット管理ユーティリティ起動中に、本ユーティリティ以外から何らかのアクセスが行われてターゲット内のファイル/ディレクトリ階層が変化した場合に、ターゲット情報を取得しなおすための機能です。

*ターゲット管理実行中に本ユーティリティ以外からターゲットにアクセスすることは、基本的には許可しません。

#### 4.3.1.3. ヘルプ(H)メニュー

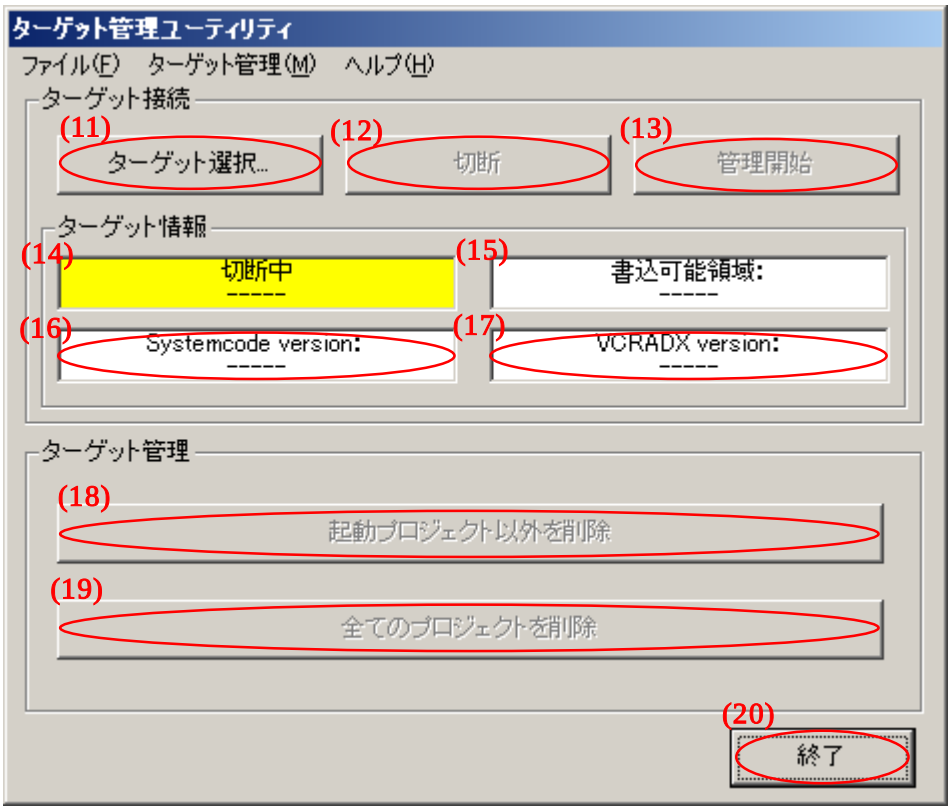



**(9) ヘルプを開く**
本ユーティリティのヘルプを表示します。

**(10) バージョン情報**
以下のように本ユーティリティのバージョン情報を表示します。
(これは Version1.1.0 時の例です。)

表示をクリックすると、元の画面に戻ります。

#### 4.3.1.4. ボタン




#### 4.3.1.5. ターゲット接続

(11) ターゲット選択...ボタン

ターゲットと未接続の場合のみクリックが可能となります。
このボタンをクリックするとターゲット選択ウィンドウが開き、接続の設定、接続処理を行うことができます。
接続設定の詳細は『4.4 ターゲット選択ウィンドウ説明』の章を参照して下さい。

(12) 切断ボタン

ターゲットと接続しているときのみクリックが可能となります。
接続中のターゲットとの接続を切断します。
ターゲット管理実行後の場合は、ターゲットの主電源を切るよう指示するダイアログが表示されます。

手動で筐体電源を OFF して下さい。
電源OFF手順は『4.6 電源OFF手順』を参照して下さい。

(13) 管理開始ボタン

ターゲットと接続しているかつ、ターゲット管理を開始していない時のみクリックが可能となります。
接続中のターゲットに対してターゲット管理を開始します。

#### 4.3.1.6. ターゲット情報

**(14) 接続状態表示**

ターゲットと接続中・切断中の状態を表示します。
ターゲットとの接続後、ターゲット内のプロジェクト情報などの取得状態となります。
接続処理およびターゲット情報取得が全て終了すると、接続先の IP アドレスが表示されます。

**(15) 書込可能領域表示**

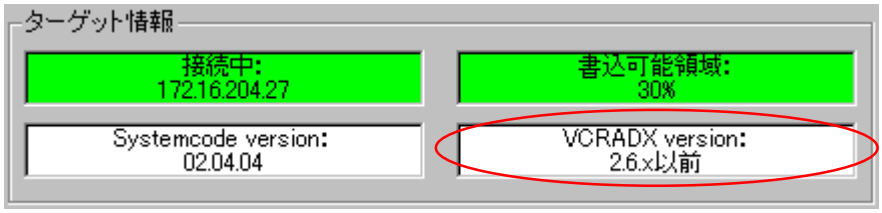
ターゲットと接続しているときに、ターゲット上の書込可能なメモリ領域の大きさの割合を表示します。
書込み可能領域の値に応じて背景色が変わります（緑=30%以上、黄=30%未満 10%以上、赤=10%未満）。

**(16) Systemcode version 表示**

ターゲットと接続しているときに、接続先の Systemcode のバージョン（ADX システムのバージョン）を表示します。

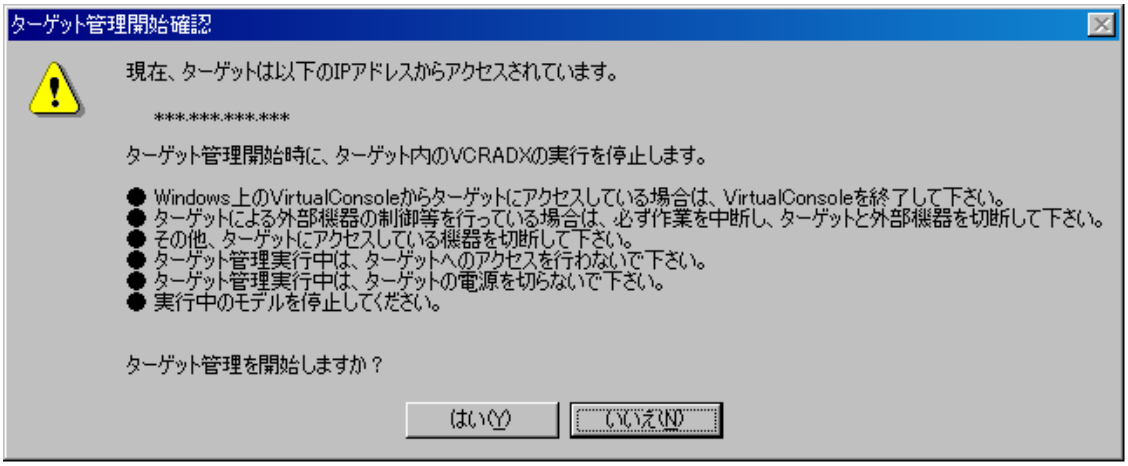
**(17) VCRADX version 表示**

ターゲットと接続しているときに、接続先の VCRADX（ADX 内で動作している VirtualConsole）のバージョンを表示します。
VirtualConsole2.9.0 以降の場合はそのバージョンが表示されます。
Ver2.6 以前のものは全て『2.6.x 以前』と表示されます。



## 4.3.2. ターゲット管理

ターゲットとの接続完了後、もしくは管理開始ボタンをクリックすると、以下の警告メッセージが表示されます。



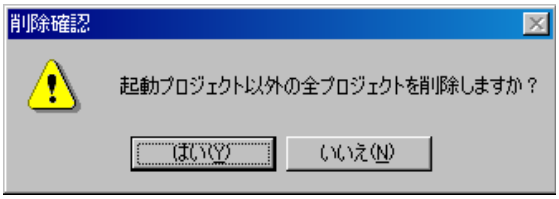

メッセージを読んだ上、問題が無いようであればはいをクリックして下さい。
はいボタンをクリックすると、VCRADX の実行が停止され、以下のメッセージが表示されます。

OKボタンをクリックしてウィンドウを閉じると、ターゲット管理が実行できるようになります。
いいえボタンをクリックした場合、以下のウィンドウが表示されます。

ターゲットと接続したままにする場合ははいボタンを、ターゲットとの接続を一旦切る場合はいいえボタンを選択して下さい。
ターゲット管理を実行する準備が整ってから、再度「管理開始」ボタンをクリックしてターゲット管理を開始して下さい。

**(18) 起動プロジェクト以外を削除**

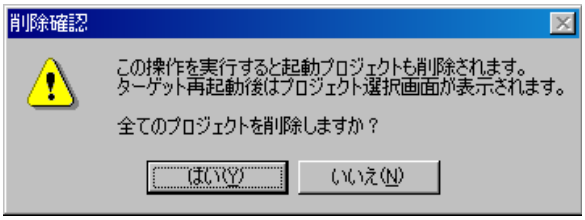
ターゲットとの接続時かつターゲット管理中で、起動プロジェクト以外に 1 つ以上のプロジェクトが存在する場合のみクリックが可能となります。
起動プロジェクト以外の全てのプロジェクトを自動的に削除します。
（起動プロジェクトとは、ADX 起動時にロード・実行されるプロジェクトのことです）
削除実行前に確認ダイアログを表示します。削除をしても良ければ「はい」をクリックして下さい。




削除終了時に終了メッセージを表示します。

**(19) 全てのプロジェクトを削除**

ターゲットとの接続時かつターゲット管理中で、1 つ以上のプロジェクトが存在する場合のみクリックが可能となります。
起動プロジェクトを含む全てのプロジェクトを自動的に削除します。
注意：起動プロジェクトを削除しない場合は使用しないで下さい。
削除実行前に確認ダイアログを表示します。削除しても良ければ「はい」をクリックして下さい。




注意）VCRADX Ver.2.6.x 以前においては、以下の警告メッセージが表示されます。

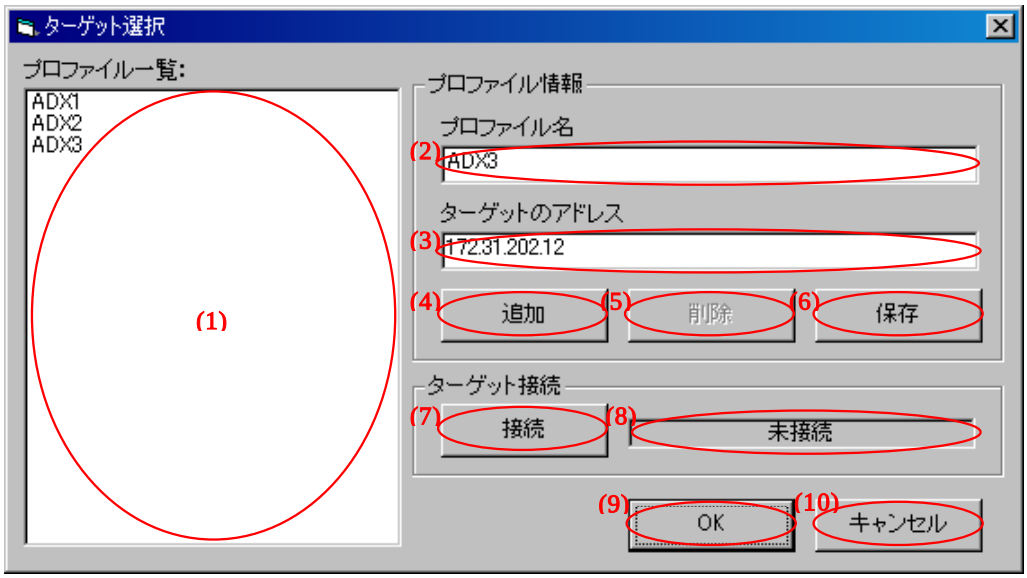
削除終了時に終了メッセージを表示します。

**(20) 終了**

アプリケーションを終了します。
終了時に未保存のプロファイル情報があるときには保存の確認ダイアログが表示されます。
ターゲットが接続されたままの場合は自動的に切断します。

## 4.4. ターゲット選択ウィンドウ説明

メインウィンドウにおいて[ターゲット選択...]ボタンをクリックした際に表示されます。
プロファイルの登録や、ターゲットとの接続処理を行うことができます。




#### 4.4.1.1. プロファイルについて

ウィンドウ中に表示されているプロファイル名（ターゲットを識別する任意の名前）とターゲットのアドレスはセットとして扱われます。
プロファイル名とターゲットのアドレスを指定して追加ボタンで登録することにより、プロファイル一覧に追加されます。
プロファイル一覧に登録されているプロファイルはマウスでクリックすることにより選択可能です。
この登録内容はメインウィンドウの[ファイル - 保存]メニューから保存することが可能です。

**(1) プロファイル一覧**

登録されているプロファイルが表示されます。
プロファイル名を選択すると「プロファイル名」、「ターゲットのアドレス」表示部にそれぞれプロファイル名、ターゲットの IP アドレスが表示されます。

#### 4.4.1.2. プロファイル情報

**(2) プロファイル名**

ターゲットを識別する任意の名前を入力します。
プロファイル一覧より任意のプロファイルを選択した場合は、そのプロファイル名が表示されます。

**(3) ターゲットのアドレス**

ターゲットの IP アドレスを入力します。
プロファイル一覧より任意のプロファイルを選択した場合は、そのプロファイルの IP アドレスが表示されます。
選択されているプロファイルの IP アドレスを変更することもできます。

**(4) 追加ボタン**

プロファイル名、ターゲットの IP アドレスが指定されている場合のみクリックが可能となります。
指定したプロファイル名、IP アドレスをセットとして、プロファイル一覧に追加します。
なお同名のプロファイル名がプロファイル一覧に登録済みの場合は追加されません。

**(5) 削除ボタン**

プロファイル名リストでプロファイルを選択しているときのみクリックが可能となります。
選択されているプロファイルをプロファイル一覧から削除します。

**(6) 保存ボタン**

現在のプロファイル情報をファイルに保存します。

#### 4.4.1.3. ターゲット接続

**(7) 接続ボタン**

プロファイル名、ターゲットのアドレスが指定されている場合のみクリックが可能となります。
「ターゲットのアドレス」表示部に表示されている IP アドレスに対して接続を行います。
接続が成功した場合、ターゲット選択ウィンドウを自動的に閉じます。

**(8) 接続状態表示**

ターゲットへの接続状態を表示します。初期状態は“未接続”となります。
接続ボタンをクリックすると“接続中”となり、何らかの理由で接続に失敗した場合は“接続失敗”と表示されます。

**(9) OK ボタン**

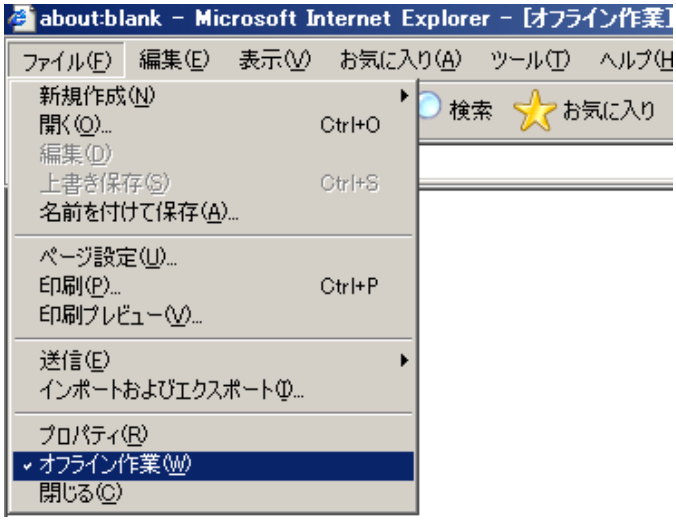
ターゲット選択ウィンドウを閉じます。
プロファイルの登録のみを行う場合はこのボタンをクリックしてウィンドウを閉じて下さい。

**(10) キャンセルボタン**

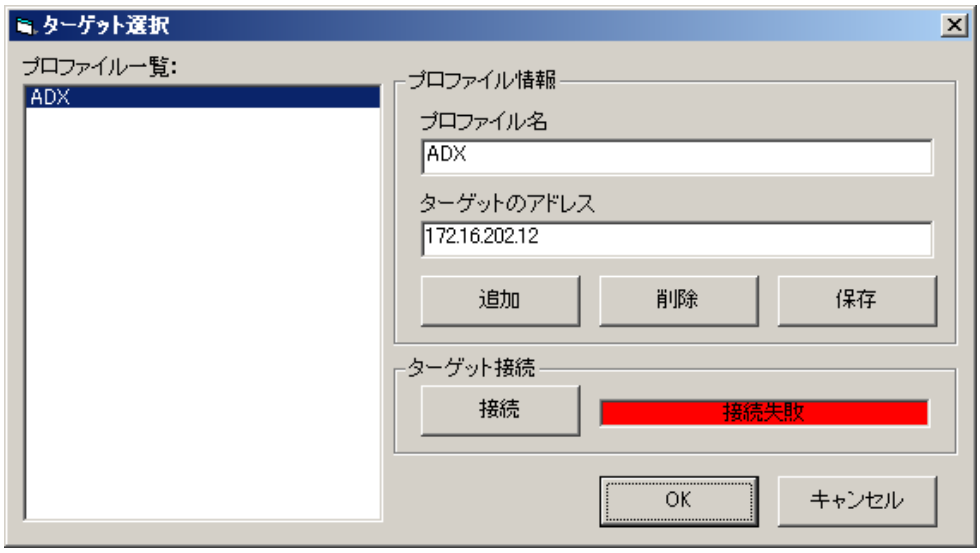
ターゲット選択ウィンドウを閉じます。
ターゲット選択ウィンドウを開いてからの操作内容（プロファイル登録・削除）はキャンセルされます。

**注意)**

InternetExplorerのファイルメニューにある「オフライン作業(W)」にチェックが入っている場合はチェックを外して下さい。




チェックが入っている場合、以下のように必ず「接続失敗」となってしまいます。



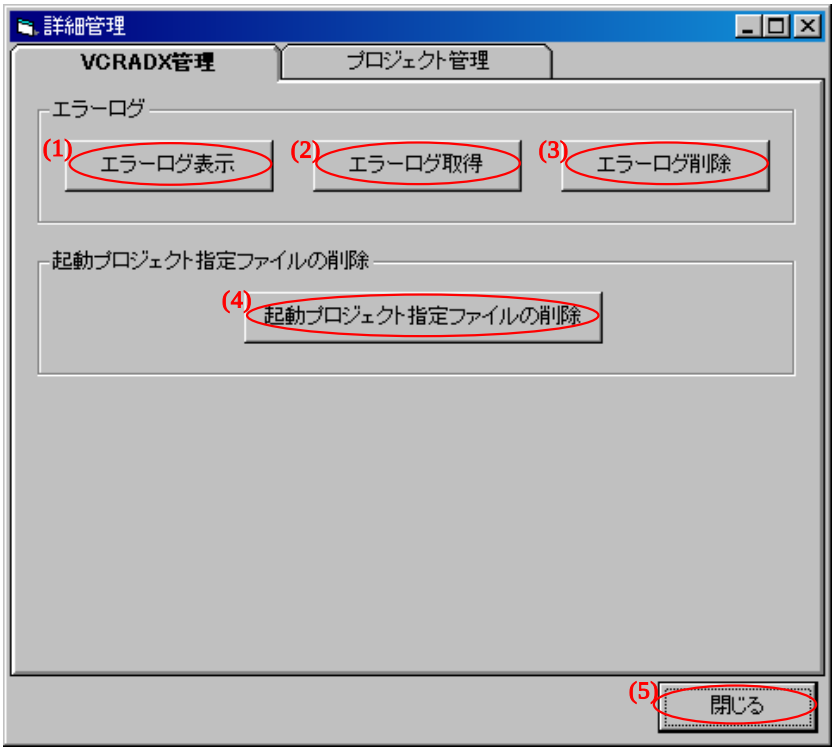
## 4.5. 詳細管理ウィンドウ説明

*本機能は通常のターゲット管理では、使用する必要はありません。ADX 内部のファイル構造に関する充分な知識のある方のみ使用して下さい。

詳細管理ウィンドウは「VCRADX 管理」と「プロジェクト管理」の 2 つに分かれます。
詳細ウィンドウがアクティブな状態でキーボードの F5 キーを押下することにより、メインウィンドウメニューの[ターゲット管理－最新の情報に更新]と同じ処理が実行されます。

### 4.5.1. VCRADX 管理タブ

VCRADX 関連のファイル管理を行います。




#### 4.5.1.1. エラーログ

(1) エラーログ表示ボタン

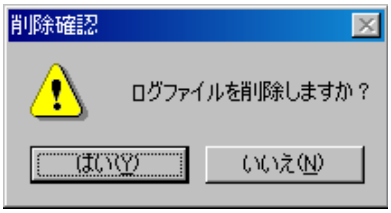
VCRADX のエラーログファイルが存在する場合にのみクリックが可能となります。
VCRADX のエラーログファイルを表示します。
このボタンをクリックすると別ウィンドウ上にエラーログファイルの内容が表示されます。

(2) エラーログ取得ボタン

VCRADX のエラーログファイルが存在する場合にのみクリックが可能となります。
ユーザが指定したファイル名でエラーログを Windows 側に保存できます。
このボタンをクリックすると保存先指定のウィンドウが開きます。

(3) エラーログ削除ボタン

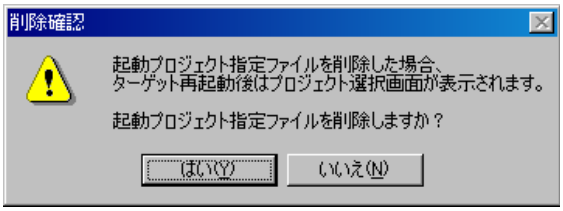
VCRADX のエラーログファイルが存在する場合にのみクリックが可能となります。
ターゲット上の VCRADX のエラーログファイルを削除します。
削除前に確認のダイアログが表示されます。削除してもよろしければ「はい」をクリックして下さい。



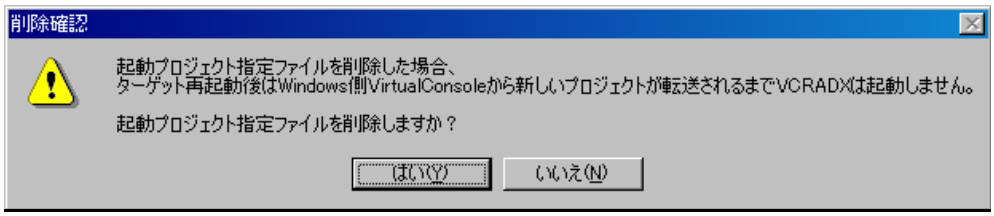
#### 4.5.1.2. 起動プロジェクト指定ファイルの削除

**(4) 起動プロジェクト指定ファイルの削除ボタン**

起動プロジェクト指定ファイルが存在する場合にのみクリックが可能となります。
ターゲット上の起動プロジェクト指定ファイルを削除します。
削除前に確認のダイアログが表示されます。削除してもよろしければ「はい」をクリックして下さい。




注意）VCRADX Ver.2.6.x 以前においては、以下の警告メッセージが表示されます。

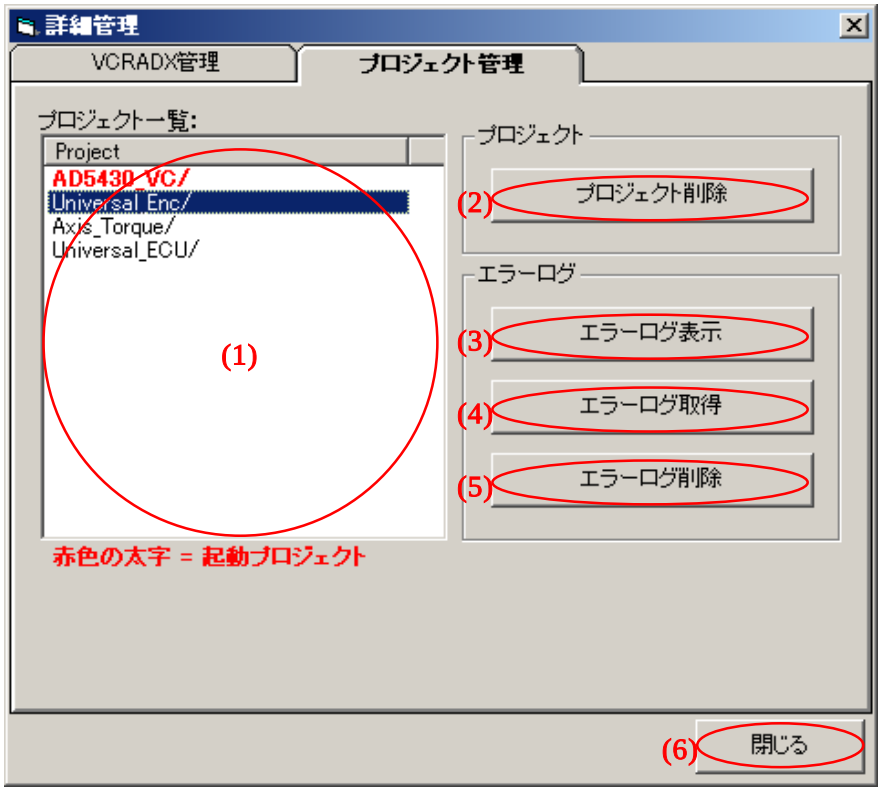



**(5) 閉じるボタン**

詳細管理ウィンドウを閉じます。

## 4.5.2. プロジェクト管理タブ

各プロジェクトについて、プロジェクト単位での管理を行います。




**(1) プロジェクト一覧**

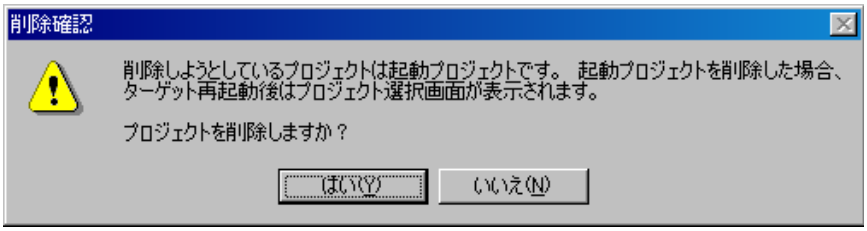
接続先に存在する VirtualConsole のプロジェクトの一覧（ディレクトリ名）を表示します。
操作（プロジェクト削除・エラーログ操作）するプロジェクトを選択して下さい。
起動プロジェクトは赤い太字で表示されます。(起動プロジェクトが選択状態の場合は、黒い太字となります。)

#### 4.5.2.1. プロジェクト

**(2) プロジェクト削除ボタン**

プロジェクト一覧にて、いずれかのプロジェクトが選択されている時のみクリックが可能となります。
選択したプロジェクトをディレクトリごと削除します。
また、起動プロジェクトを削除した際には起動プロジェクト指定ファイルも同時に削除されます。
削除前に確認のダイアログが表示されます。削除してもよろしければ「はい」をクリックして下さい。

起動プロジェクトを削除しようとした場合は、以下のメッセージが表示されます。



注意）VCRADX Ver.2.6.x 以前において、起動プロジェクトを削除しようとした場合は以下の警告メッセージが表示されます。

*「プロジェクト削除」ボタンの代わりに、キーボードの Delete キーを押下でも削除が可能です。

#### 4.5.2.2. エラーログ

(3) エラーログ表示ボタン

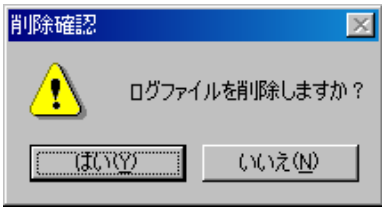
プロジェクト選択時かつプロジェクトのエラーログファイルが存在する場合にのみクリックが可能となります。
指定したプロジェクトのエラーログファイルを表示します。
このボタンをクリックするとファイルの内容が別ウィンドウ上に表示されます。

(4) エラーログ取得ボタン

プロジェクト選択時かつプロジェクトのエラーログファイルが存在する場合にのみクリックが可能となります。
ユーザが指定したプロジェクトのエラーログファイルを Windows 側に保存できます。
このボタンをクリックすると保存先指定のウィンドウが開きます。

(5) エラーログ削除ボタン

プロジェクト選択時かつプロジェクトのエラーログファイルが存在する場合にのみクリックが可能となります。
ターゲット上の、指定したプロジェクトのエラーログファイルを削除します。
削除前に確認のダイアログが表示されます。削除してもよろしければ「はい」をクリックして下さい。




(6) 閉じるボタン

詳細管理ウィンドウを閉じます。

## 4.6. 電源 OFF 手順

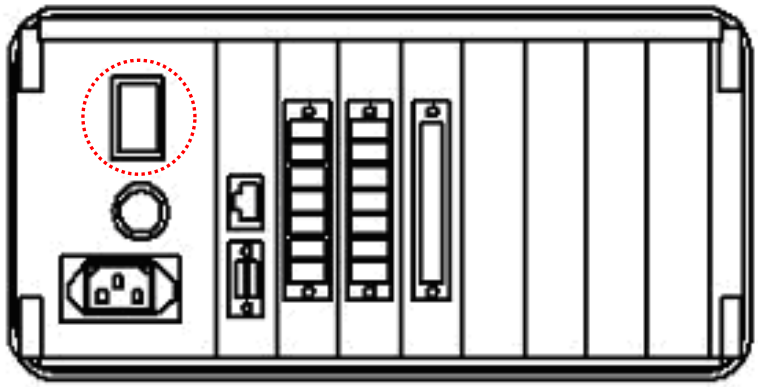
ターゲット管理実行後切断ボタンをクリックするとターゲットの主電源を切るよう指示する以下の様なダイアログが表示されます。

機種によって電源 OFF 手順が異なります。詳細は下記機種の電源 OFF 手順を参照して下さい。

### 4.6.1. AD4820、AD5431/32 の電源 OFF 手順

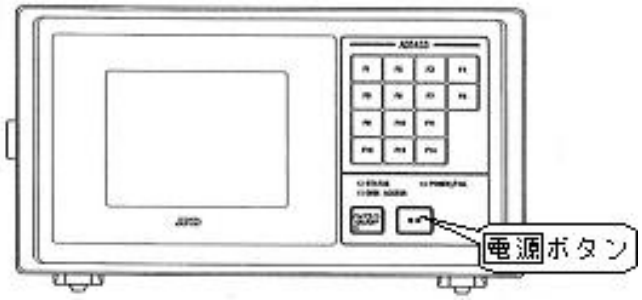
AD5431 筐体の背面にある電源スイッチを切って下さい。

＜AD5431/32、AD4820 背面＞



## 4.6.2. AD5433/35 の電源 OFF 手順

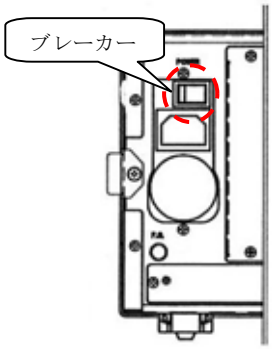
＜AD5433/35 正面＞




1）筐体前面にある電源ボタンを約 3 秒間押下して下さい。（「ピッ」という電子音がします。）

2）パネル上に「シャットダウンしました。」と表示されます。

＜AD5433/35 背面＞




3） 筐体背面にあるブレーカーを―にして下さい。

## 4.6.3. AD5451 の電源 OFF 手順

電源 OFF は筐体から以下の手順で行って下さい。

＜AD5451 正面＞